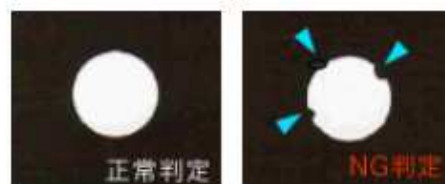
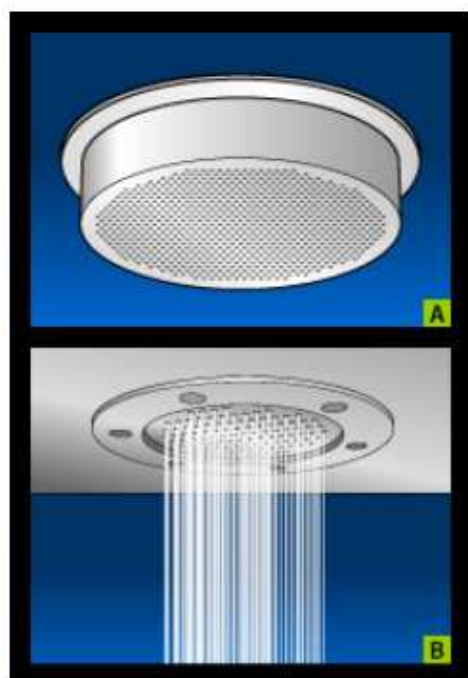
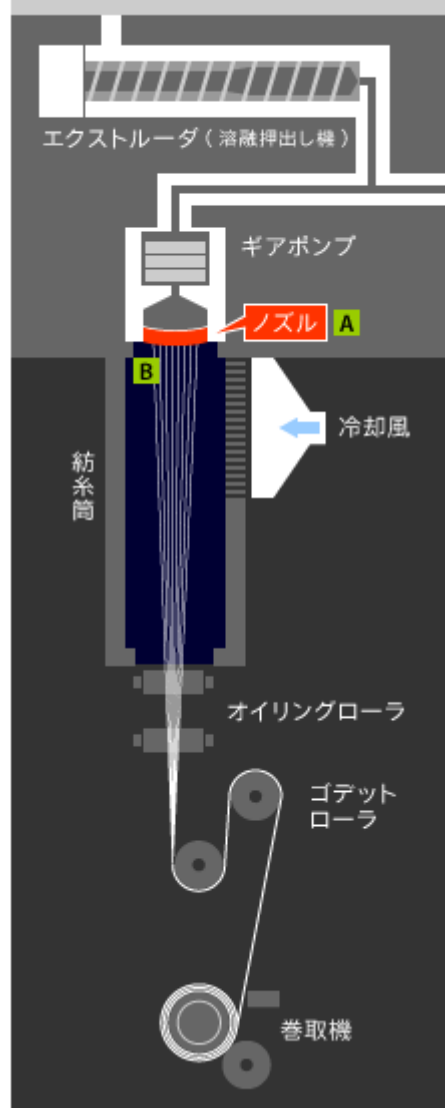


ノズル検査装置

微細な孔が無数に並ぶ化学繊維用成形ノズル。
繊維の品質に直結する孔の表面状態や目づまりを
画像処理技術で高速に自動検査します。



熔融紡糸装置の概略



『ノズル』とは... (合成繊維の製法)

例えば、ポリエステルは石油とエチレンを原料とする2種類の化学物質を縮合重合させた高分子「ポリエチレンテレフタート (PET)」のチップを原料とし、エクストルーダ(熔融押し機)により熱で熔融し、計量器付きギアポンプを経由して、細かい孔が多数開いた「ノズル」から繊維形状に押し出し、空気で冷却して繊維化します。さらに巻き取られ方向に延伸した後、巻き取られて製品となります。

このように、ノズルは繊維の形状や太さなどが決まる重要なパーツです。しかも、多数開いた孔ひとつひとつがその役割を担うために目詰まりなどの不具合は製品の品質に大きな影響を及ぼします。

ノズル検査装置の特長

マクロカメラでワークを自動認識 ワークセットの簡易化を実現

全孔位置を自動認識するマクロカメラを搭載し、孔の座標データを検査用マイクロカメラに転送するので、ワーク位置や回転を気にすることなくセットが簡単になりました。従来のようにワーク寸法のデータ入力の手間もなくなり作業効率が向上します。

22ミクロンの細径孔や さまざまな異形孔にも対応

130万画素マイクロカメラの搭載で、より高精度な検査が可能になりました。さらに画像処理ソフトウェアによって、さまざまな形状の孔も自動認識しますので、機能性繊維の製造現場においてもスムーズな検査体制を導入できます。

全孔をスピーディに自動検査 NG孔にはエアー洗浄も可能

数千ものノズル孔でも全数を高速に検査します。目詰まりから面ダレ（使用に伴う変形）まで精細にチェックし、NG孔に対してはマーキング処理やエアーによる洗浄も可能。洗浄後には再検査まで自動処理します。

検査データを保存し トレーサビリティのお役に

パネル毎の検査結果情報を、HDD等に保存する事が可能です。



お問い合わせは、営業部(092-881-0238)まで